

かけはし

近畿島根県人会 新会長 就任挨拶



千家敬磨 新会長

この度、故戸津川会長の後を継ぎ、近畿島根県人会の第9代会長をお引き受ける事になりました。千家敬磨でございます。

8年という長きにわたり会長として故郷島根の発展と県人会活性化にご尽力頂いていた戸津川会長が今年1月に突然ご逝去なさいました。

改めて、そのご功労に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

また最期に、私に託したいとの

お言葉を言い残されたと聞かされ、微力ながらもお役に立てる様頑張らねばならないと、お引き受けする決断を致しました。

近畿島根県人会は、来年には60周年を迎えるという長い歴史と伝統ある会であり、近畿に在住の皆様がへふるさと島根・ご縁のある島根に想いを馳せ『活力溢れる島根を!』と応援をし続ける会で、特に近年は目覚ましく発展し大きな成果を上げてきています。

しかし残念ながらコロナ蔓延の影響を受けて、昨年、今年と2年連続して総会、懇親会の開催が出来ない状況となってしまいました。正に先の見えない中で担う事になる重責であり、不安な思いです。

この混沌の時代に、果たしてこの素晴らしい県人会を維持発展させる事が出来るのだろうか? 今ま

での様に500名もの会員が集う盛大な会を実施する事は可能なのだろうか? 島根からの来賓の方々等のご参加は? 会の趣旨「ふるさと応援団」としての役割は果たせるのか? 等々の心配は尽きません。

しかし、『いいけん、島根県』のタイトル通り「古い歴史と伝統、豊かな自然に育まれた文化、風土、世界に誇れる島根」を愛する皆様の気持ちだけは揺るがないものと確信しています。

この様な時だからこそ『感動溢れる会を目指さなければならぬ』とも考えます。

定例の理事会すら開催出来ないご時世ではありますが、33団体、約1万人の各市長村人会の皆様との連携を深め、75名の役員の方々のお力添えと、会員皆様のご協力を得て、この不透明な時代を乗り越えたいと存じます。

皆様の絶大なるご支援を心からお願い申し上げます。新しい出発のご挨拶とさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。



第71回 全国植樹祭 しまね 2021

木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪

//// 令和3年5月30日(日)に大田市三瓶山で開催しました!! ////

「木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪」をテーマに第71回全国植樹祭を令和3年5月30日に大田市三瓶山で開催しました。全国植樹祭は、豊かな国土づくりに大切な森林・緑への理解を深めるための国土緑化運動の中心的行事で、島根県での開催は昭和46年以来50年ぶり2回目となりました。



丸山知事あいさつ(三瓶会場)



大会メッセージ発信(三瓶会場)

式典当日は三瓶会場と東京会場をオンラインで結び、東京会場において、天皇陛下からおことばを賜るとともに、天皇皇后両陛下にお手植え、お手播きを、天皇陛下には植樹祭において初めてとなる御収穫を行っていただきました。天皇陛下に御収穫いただいたクロマツは、昭和46年の第22回全国植樹祭で昭和天皇が植えられ、平成3年第15回全国育樹祭で当時皇太子殿下であった天皇陛下がお手入れされた木です。

このクロマツを御収穫いただくことで、島根県が全国に先がけて進める「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を象徴的に発信しました。

三瓶会場では、招待者約千人の方にご参加いただくとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当日お越しいただけなかった県外招待者はオンラインでご参加いただきました。

また、式典当日までの100日間、県内各地で行った県民参加植樹イベントでは延べ3500人の方に植樹いただき、県民参加の森づくりを推進しました。



緑の少年団にお言葉をかけられる天皇陛下(東京会場)



天皇陛下の御収穫(東京会場)

お問い合わせ先：島根県 農林水産部 林業課 全国植樹祭スタッフ

TEL：0852-22-6558

こんにちは

関西浜田会です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。
第25回は、**関西浜田会**のご紹介です。



関西浜田会
会長 川神 傳弘

「関西浜田会」は、当時の浜田市長の要請により、関西在住の出身者有志が発起人となって、昭和六十三年に発足しました。以来、会員相互の親睦・交流を深め、ふるさと浜田の発展に寄与することを目的として活動を進めています。

主な活動としては、毎年六月に「総会・懇親会」を開催し、「浜っ子関西ツアー」（七月）、「関西浜田会会報」の発行（年二回）、そして、親睦旅行等があります。

また、浜田市と連携して「広報はまだ」等、近々の浜田市の情報を会員に届けるとともに、島根県大阪事務所、近畿島根県人会の協力を

得て、島根県の情報発信にも努めています。

総会では、家族・友人も含め、多くの会員が集い、親睦・交流を深めるとともに、市長や多くの来賓の参加も得て、石見神楽や各方面で活躍している浜田市出身者をゲストとして招くなど、多彩な内容で、盛大に開催しています。



関西浜田会総会 創立30周年記念 石見神楽上演



関西浜田会 総会

浜田市と共催の「浜っ子関西ツアー」では、毎年、夏休みに、百名を超す浜田市の小学五年生〜中学二年生の子どもたちを関西に招き、一泊二日の体験活動事業を実施しています。一日目は神戸港、



浜っ子関西ツアー（淡路島）



浜っ子関西ツアー（USJ）

六甲山、明石海峡大橋を渡って淡路島など、行き先を毎年工夫し、二日目はUSJで一日楽しく過ごします。ふるさとの香りを運んでくれる子どもたちとの出会いは私たちの大きな楽しみとなっています。

昨年、そして今年も新型コロナウイルス感染予防のため、会報発行以外の活動は休止を余儀なくされていますが、会員同士のつながりや交流を大切にしながら、今後ともふるさと応援団としての活動に努めていきたいと考えています。

【お問い合わせ先】

関西浜田会

事務局長 岡本 幸夫
連絡先 0798-23-4698

市町村と関西との都市交流

〔松江市〕

姉妹都市：兵庫県宝塚市

兵庫県宝塚市とは、当時、山陰地方と関西地方の各駅をつないでいた「特急やくも」の宝塚駅停車がとりもつ縁で、昭和42年8月1日に姉妹都市提携を締結しました。

姉妹都市となって以降、観光やスポーツ、文化、教育などの幅広い分野で交流しています。昭和49年からは小学生を対象とした「少年スポーツ交歓会」、平成10年からは大人を対象とした「生涯スポーツ交流」が始まり、毎年1回、お互いの市を行き来し、開催しています。特に、少年スポーツ交歓会では、それぞれの家にホームステイをして



平成29年姉妹都市提携50周年記念式典



平成29年スポーツ交流

交流を深めています。

姉妹都市提携45周年を迎えた平成24年には、「災害時相互応援協定」を締結し、平成30年からは職員人事交流も行っています。また、令和元年からは、牡丹で有名な大根島の日本庭園由志園において、宝塚市の市花であるダリアを池泉に浮かべるイベントが秋に開催されるなど産業界での交流も始まっています。令和4年8月には姉妹都市提携55周年を迎えることから、今後も、「良きパートナー」としてさまざまな分野で交流を深めていきたいと考えております。

【お問い合わせ先】

松江市役所政策部地域振興課 地域振興係
TEL：085215515519

〔飯南町〕

姉妹都市：兵庫県伊丹市

中国地方の山間部、広島県との県境に位置する島根県飯南町は、市町村合併以前の旧頓原町の時代から、兵庫県伊丹市と交流を持っていました。その歴史は古く、伊丹市に本社のある企業の頓原町への進出がきっかけとなって、相互の議会、民間団体の交流が盛んになり、昭和55年に姉妹都市協定を締結しました。平成17年に飯南町が誕生してからも、変わらず交流は続いており、現在では伊丹市での「いすみ緑化フェア&物産フェア」へ参加して飯南町の特産品をお届けしたり、毎年飯南町の小学生達が伊丹市を訪問して様々な施設やイベントを体験する「飯



小学5年生伊丹体験ツアー（伊丹空港にて）



田植交流（魚釣りを楽しむ子供たち）

【お問い合わせ先】

飯南町役場 産業振興課
TEL：085417612214

祈りいたします。

島根ふるさと紹介「美郷町」

「変わりゆく美郷町〜山くじらの郷・ワイナリーリゾートタウン〜」

島根県美郷町の主だった動きを報告いたします。

まず、山くじらの取り組みです。全国から自発的に産官学民が集う鳥獣害対策版シリコンバレー、通称「美郷バレー」は、過去20年間の獣害対策や山くじらの資源利用、地域づくりの共感とその強みを活かし、2019年から企業や大学の知の誘致を推進してきました。

現在、麻布大学はじめ企業や自治体、団体など11の協定を締結しております。協定締結先には近畿地方で、丹波篠山市やNPO法人、大阪市内や吹田市内の2つの企業とも協定を締結しています。

美郷バレーの成果として、今年4月1日から、神奈川県相模原市に設置されている130年の歴史ある麻布大学が、美郷町内に教育研究拠点施設「麻布大学フィールドワークセンター」を開設、専任教員がセンター長として常駐されています。2年後に新センターのフィールド実習を取り入れた大学の本格的なカリキュラム



創作館(フィールドワークセンター)正面

編成や学生の受入の準備をしています。

島根県内第3の大学として期待されています。また、同日に吹田市に本社のあるタイガー株式会社、美郷町内に「美郷バレー タイガー株式会社 中国営業所」を開設されました。鳥

獣害対策を目的に日本で初の爆音機の販売をされ、今年で創業70周年を迎えられた鳥獣害対策機器製造販売の老舗メーカーです。

山くじらの郷では、新型コロナウイルス禍であります。地方の強みを活かしながら、山くじらの郷の魅力に磨きをかけています。

次に3月25日に潮温泉大和荘の建替えに伴い、グランドオープンしました石見ワイナリーホテル美郷をご紹介します。「石見ワイナリーホテル美郷」の前身である「潮温泉大和荘」は昭和47年に老人福祉センターとしてオープンし、建て替えのため営業を停止する平成30年5月までの46年間親しまれてきました。



フィールドワークセンター開所式

新たにオープンした潮温泉施設「石見ワイナリーホテル美郷」は、町民の保養・健康増進を目的とするだけでなく、地域の活性化のための拠点となる施設です。

潮温泉は、キツネが傷ついた体を癒し、助けられたお礼に狐師に紹介したという言い伝えのある、美肌成分を示すメタケイ酸が豊富な美肌温泉です。

また、運営者である石見ワイナリー株式会社は、三瓶山東の原でワイナリーを運営され、このコロナ過のなかでも多くの方が来訪されています。

4月からは町有施設であるゴルフデンユートピアおおち、カヌーの里おおちも運営していただいております、ホテルと併せた一体的な運営により、より多くの観光客が美郷町を訪れていただき、長期滞在していただ

ける「ワイナリー・リゾート・タウン」がスタートしています。

ぜひ、一度訪れていただければと思います。お待ちしております。

ります。



ワイナリーホテル全景

お問い合わせ先

美郷町役場

山くじら・山くじらブランド推進課

ワイナリー・企画推進課

TEL 0855-75-1211(代表)

関西エリアにおける

観光物産イベント情報

日時：9月4日(土)・5日(日) 10時～18時(予定)
場所：みのおキーズモール(箕面市)

内容：島根県の観光情報や物産販売などがあります。

*新型コロナウイルスの影響により、開催中止となる場合があります。

*島根県大阪事務所ホームページの「観光情報」↓

「関西エリアにおける島根に関連する各種イベント」にて、開催状況をご確認ください。

島根県大阪事務所ホームページ

(<https://www.pref.shimane.lg.jp/osaka/>)

石見神楽大阪社中

動画配信のお知らせ

平成31年に結成された石見神楽大阪社中による石見神楽PR動画が作成されました。

難波八坂神社で恵比寿、八岐大蛇を舞っています。演目のあらすじをわかりやすく説明していますので、ぜひ、ご覧ください。

近畿島根県人会ホームページ「イベント」↓「石見神楽の魅力大阪からYouTubeで発信!」から動画をご覧ください。

近畿島根県人会事務局からのお知らせ

新事務局長よりご挨拶



永岡伸善 新事務局長

伊藤事務局長の後任として赴任しました永岡(出身市出身)と申します。これまで企業誘致に関わる業務として、関西方面は出張で訪れておりますが、大阪で生活し、勤務するのははじめてであることから戸惑うことも多々ありますが、よろしく願い申し上げます。

さて、島根と関西地方は、神話の世界(時代)から今日に至るまで、様々な人と人との「縁」により、つながっており、まさに県人会の皆様方がその役割を担って頂いております。

歌舞伎の創始者と言われ、京都で名を広めた大社町出身の「出雲阿国」は、県人会の大先輩ということになるのですが、彼女の本来の役割は、出雲大社の勧進であったとされます。今の世で言えば、「観光大使」かもしれません。同じように故郷を想い、「かけはし」となって頂いている皆様方のために、精一杯汗をかかせて頂きますとともに、引き続き、島根の発展のため、お力添えをさせていただきますようお願い申し上げます。

近畿島根県人会ホームページ開設のお知らせ

近畿島根県人会の紹介、活動報告、機関紙「かけはし」、関西エリアにおけるイベント情報、縁結び美味しまね認証店等を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

近畿島根県人会ホームページ

URL: <https://www.kinkishimane-kenjinkai.com/>

住所変更等異動通知のお知らせ

住所、連絡先、勤務先等に変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の「異動通知連絡票」をご提出ください。また、記載事項に誤り等ございましたら、事務局までご連絡ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

元会長 和田亮介様のご逝去について

近畿島根県人会元会長 和田亮介様が、令和3年5月25日 89歳にてご逝去されました。和田様は、平成18年から近畿島根県人会第7代会長として、故郷島根の発展や県人会活性化のために全力を尽くしてこられました。

会長在任中、和田様が強い意思をもって、「出雲、石見、隠岐の三つの国を、故郷は一つ、三国同志、島根一國」に収斂する」と述べられ、結束した県人会活動にご尽力頂きました。

ご生前のご活動に深く感謝を申し上げますと共に、ご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

